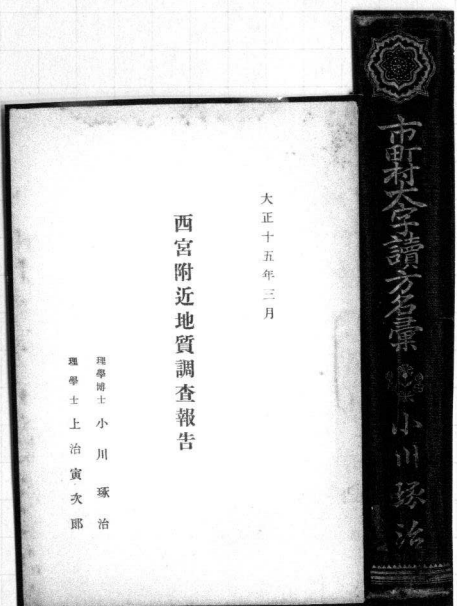


小川琢治 （註） 地質・地理學者、理學博士。明治二年五月紀伊國田邊生れ、昭和十六年十一月十五日歿（一八七〇—一九四二）。舊姓淺井。明治十九年帝國大學理科大學地質學科卒。農商務省地質調査所に入り、國內各地の地質圖を製作。また佐川榮次郎、井上禧之助、田村榮太郎、巨智部忠承と共に『百萬石』大日本帝國地質圖説明書（明治二十二年六月—二十五年）農商務省地質調査所（を著した。他、『日本群島地質構造論』等の長論考を續々と發表。四十一任京都帝國大學文學部教授となり、地質學講座を擔當。大正十年には理學部地質學教室を創設、日本群島の地誌學をも講じた。日本地質學會會長、帝國學士院會員。小川芳樹、貞塚八樹、湯川秀樹、小川環樹の父。

『漢詩を能くし』、『桑蓬集』（昭和五年五月—二十七日自刊）、『西の市町村大字讀方名彙』（大正十四年一月—二十五年成泉堂）、『西宮附近地質調査報告』（上治寅次郎共著、大正十五年二月無刊記）、『日本群島』（昭和十九年九月—二十日弘文堂書房）等。



西宮附近地質調査報告

大正十五年三月

理學博士 小川 琢治
 理學士 上治 寅次郎